



平成 30 年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会

短期入所生活介護

姫路・勝原ホーム短期入所生活介護

平成 30 年度 事業計画

<p>目 標</p>	<p>介護計画書に沿ったケアを行う体制を再構築する。</p>
<p>理 由</p>	<p>介護計画書の作成及び見直しは随時行っており、内容の周知には様々な方法をとってきたが、職員によって内容の確認や把握にバラつきが見られることがある。また、機能訓練等についても職員によって実施に差が見られる場合があった。利用者の心身機能の維持のためには、職員全員が介護計画書に沿ったケアができる体制を再度作り直す必要性があるため。</p>
<p>具体的対応策</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護計画書作成時には、介護職員も参加できる事業所独自のカンファレンスを開催する。 2. カンファレンス記録は誰もがいつでも確認できるよう一覧化することで、情報の周知につなげる。 3. 日々の業務内容や流れを見直し、機能訓練やレクリエーションの時間や担当者を明確にする。 4. 毎月の事業所会議にて介護計画書に沿ったケアの達成状況及び問題点等を話し合い、職員全員で共有する。

平成 30 年度 事業報告

<p>事業報告</p>	<p>介護計画書の作成に関しては、介護職や看護師からの意見聴取を行う為に事業所独自のカンファレンスを開催する事が出来た。カンファレンスの記録や反映させた計画書は誰でもいつでも確認出来るようにはしたが、書類は現状の書式でも大きな問題無いとの指摘もあり一覧化は行わなかった。介護計画書等必要な情報をまとめた書類を工夫して作成する事は出来たが、その情報の共有がきちんと出来ているかの確認を疎かにしてしまい、計画書に沿ったケアの徹底は不十分だった。</p> <p>機能訓練に関してはご本人やご家族に希望を確認し、送りの送迎の後やトイレ誘導の前後の時間を見つけながら、希望の内容に取り組む事が出来た。しかし、時間帯等を固定する事は出来ず、その日の勤務状況に合わせながらの対応となり、固定して取り組める体制を作るには至らなかった。今まで機能訓練に時間を割く事が出来ていなかった為、前進させる事は出来た。</p> <p>毎月の会議や日々のミーティングの際に各利用者様の現状や注意事項に関する申し送りを繰り返し行う事で情報の共有は出来ているが、全体での情報共有は出来ておらず、担当者や当日勤務者しか共有出来ていなかった。個々に応じたケアが行えるようになる為にはもっと介護職員全体がケアに必要な情報を共有し、実践出来るようになる必要がある為、来年度の課題として取り組んでいく。</p>
<p>事業運営総括</p>	<p>平成 30 年度は年間平均稼働率が 91.5%と前年度を 5.5%上回る事が出来た。9 月、10 月に特養のプライベート改修工事が行われた事で、ショート of 4 床分を特養が使用する事になり、14 床での利用となった。その結果現利用者及び新規利用者の受け入れを制限せざるを得ない事もあったが、入退所の時間調整や特養の空床利用等の工夫を重ね 14 床はしっかり埋める事が出来た。入所や入院等によるキャンセルが例年同様多かったが、前年度よりも退所日と次の方の入所日の調整がある程度上手くいった事で大きな低下を防ぐ事が出来た。その結果年度初めに設定した年間平均稼働率 90%以上という目標を達成する事が出来た。しかし更なる稼働率の向上と安定を図る為にはこの入退所の調整をさらに上手に行う必要があり、連携を重ね慎重に行っていく。平均介護度は 2.86 で前年度比 0.02 減とほぼ横ばいとなっている。身体面は機能を維持しているが認知症状の進行している方が多い状態にある為、正しく病状を理解し、個々に応じたケアが行える様に来年度の目標に取り組んでいく。</p>

要介護度の状況 《平均要介護度 介護 2.86》

平成31年3月31日 現在

	人数	割合
要支援1	0	0%
要支援2	0	0%
要介護1	8	16%
要介護2	11	22%
要介護3	16	31%
要介護4	12	24%
要介護5	4	8%
合計	51	100%

月間利用実績（人数）

平成30年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
要支援2	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3
要介護1	8	9	6	7	5	5	5	7	9	8	7	8	84
要介護2	9	9	10	9	13	9	7	8	11	8	9	11	113
要介護3	24	20	27	24	23	21	22	22	19	16	14	16	248
要介護4	7	7	7	9	12	9	10	10	10	11	12	12	116
要介護5	8	6	6	4	4	5	7	7	7	4	4	4	66
合計	57	51	56	53	59	50	51	54	56	47	47	51	632

月間利用実績（延べ人数） 《稼働率 91.5%》

平成30年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	5
要支援2	0	0	0	0	8	13	0	0	0	0	0	0	21
要介護1	59	70	45	55	38	38	39	52	53	66	39	45	599
要介護2	72	92	87	87	131	74	57	62	70	66	101	84	983
要介護3	193	202	232	215	164	147	165	184	189	169	136	178	2,174
要介護4	70	91	76	89	102	91	103	125	124	153	117	162	1,303
要介護5	75	51	45	53	52	76	95	57	72	33	32	32	673
合計	472	506	485	499	495	439	459	480	508	487	427	501	5,758

※特養のプライベート改修に伴い、特養がショートベッド4床利用の為、9月・10月は14床での計算となる。

曜日別延べ利用実績

平成30年度

	月	火	水	木	金	土	日	合計
人数	817	857	849	844	813	756	822	5,758
割合	14%	15%	15%	15%	14%	13%	14%	100%

1週当り平均利用人員

平成30年度

	月	火	水	木	金	土	日	合計	1日平均
人数	15.7	16.5	16.3	16.2	15.6	14.5	15.5	110.30	15.76
割合	14%	15%	15%	15%	14%	13%	14%	100%	

年齢別構成状況

平成31年3月31日 現在

	65歳以下	65歳以上 から 70歳未満	70歳以上 から 75歳未満	75歳以上 から 80歳未満	80歳以上 から 85歳未満	85歳以上 から 90歳未満	90歳以上	合計
男	0	2	2	2	6	1	1	14
女	0	0	3	5	5	8	16	37
全体	0	2	5	7	11	9	17	51

行事報告

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
4月	親桜会	計算・脳トレーニング 外出ドライブ・数字パズル	連想ゲーム ビンゴゲーム 棒体操
5月	つくし会との交流会 朱の会との交流会 若葉保育園との交流会	ちぎり絵・漢字トレーニング ・点つなぎ・裁縫	都道府県ゲーム 連想ゲーム 北国の春体操
6月	ドライブ外出	塗り絵・脳トレーニング 珠算検定・神経衰弱	連想ゲーム ビンゴゲーム 水戸黄門体操
7月	七夕の飾りつけ	漢字トレーニング・裁縫 ちぎり絵・数字パズル	積み木ゲーム 連想ゲーム ボール体操
8月	納涼大会	ことわざクイズ・飾り作り ちぎり絵・パズル	競馬ゲーム 連想ゲーム 北国の春体操
9月	和太鼓交流会 寿会	カルタ・漢字トレーニング 塗り絵・点つなぎ	連想ゲーム 紙芝居 グーパー体操
10月	吉備神社秋祭り ふくろうの会との交流会	脳トレーニング・裁縫 外出ドライブ・ちぎり絵	ポールゲーム 積み木ゲーム 新聞体操
11月	東坂老人会との交流会 勝原小学校との交流会	漢字トレーニング・塗り絵 神経衰弱・カルタ	連想ゲーム 点取りゲーム 棒体操
12月	若葉保育園との交流会 クリスマス会	裁縫・ショートクリスマス 会・飾り作り・珠算検定	食べ物集めゲーム 連想ゲーム 北国の春体操
1月	初詣 書初め	おたふく・脳トレーニング 飾り作り・折り紙	おたふくゲーム トランプ、カルタ グーパー体操
2月	節分豆まき	塗り絵・裁縫・数字パズル カルタ・ことわざクイズ	連想ゲーム ポールゲーム 水戸黄門体操
3月	ドライブ外出	外出ドライブ・数字パズル 飾り作り・脳トレーニング	トランプ 連想ゲーム 新聞体操

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
定期的	お誕生会 世代間交流	飾り作り・塗り絵・パズル	足踏み・音楽による体操 リハビリ体操 連想ゲーム

法人研修

研修名	研修内容	参加職種	参加人数	期間	講師(職・氏名)
介護技術研修	介護の基本について、裏返り、起き上がり、移乗の技術講習	介護職員	46名	6月2日 6月27日 6月30日	ケアプロデューズRX組 (青山幸広氏)
産業医研修	生活習慣病についての研修	全職種	42名	5月30日	囑託医 (久保精一郎氏)
接遇研修	介護職員としての接遇・マナー研修	全職種	96名	7月10日 7月11日 8月7日	株式会社ニッソナーネット (青野桂子氏)
運転技術研修	安全運転技術・事故防止における講習	公用車を運転する職種	29名	8月20日 8月21日 9月5日 9月20日	大阪ガスオートサービス (吉田正信氏)
看取りケア強化研修	看取りに関する研修(家族対応について)	看護職員 介護職員	28名	9月10日 9月12日 9月14日	株式会社ニッソナーネット (舟木つるえ氏)
衛生管理研修	細菌性食中毒の特徴と予防についての研修	管理栄養士 調理員	13名	10月26日	衛生管理株式会社 (森田笑美氏)
介護ロボット研修	介護ロボットについての研修(ノーリフティングケアのすすめ)	全職種	37名	11月7日 11月16日 11月19日	いやさか苑 施設長 (田上優佳氏)
職員倫理研修	身体拘束についての研修	全職種	35名	11月7日 11月16日 11月19日	おかの花 施設長 (小椎尾竹信氏)
音楽療法研修	レクリエーションにおける研修	機能訓練指導員 生活相談員 介護職員	35名	11月29日 12月5日 1月9日	(株) 兵庫第一興商 (村上寛奈氏)

参加職員は併設事業所も含む。

職員間の内部研修の実施状況 (平成30年度)

研修名	研修内容	参加職種	参加人数	期間	講師(職・氏名)
基本理念・接遇研修	法人理念・サービスの心得・接遇・個人情報保護についての取り扱いについての研修	全常勤	50名	4月1日	副施設長(塩見優次)
認知症研修	認知症とチームケアについての研修	全職員	66名	4/23~4/27 (5回)	認知症委員会
感染症対応研修	ノロウイルス対策とマニュアルの説明についての研修	全職種	65名	5/21~5/25 (5回)	感染・衛生委員会
食中毒予防研修	食中毒の予防について	全職員	54名	6/25~6/29 (5回)	栄養委員会
口腔内吸引研修	介護員(正規職員対象)喀痰吸引の知識と吸引方法についての研修	介護員	17名	7/17~7/27 (10回)	医療的ケア安全対策委員会
リスクマネジメント研修	平成29年度事故報告書集計結果報告・事例検討についての研修	全職種	47名	8/20~8/24 (4回)	リスク管理委員会
褥瘡・拘縮予防研修	おむつの仕組みとあて方についての研修(協力:ユニチャーム)	介護員	42名	9/11~9/19 (3回)	褥瘡・拘縮予防委員会
体位交換、良肢位保持研修	安全で安楽な姿勢、体位交換についての研修	全職種	36名	9/17~9/21 (5回)	介護向上委員会
褥瘡・拘縮予防研修	褥瘡と拘縮予防についての研修	全職種	56名	10/15~10/19 (5回)	褥瘡・拘縮予防委員会
在宅サ―ビス研修①	地域包括ケアシステムと地域を支える住民主体の活動について	全職種	54名	10/15~10/19 (5回)	在宅サ―ビス委員会①
安全対策研修	AEDの使用方法についての研修	介護職	56名	12/17~12/21 (5回)	安全対策委員会
在宅サ―ビス研修②	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業についての研修	全職種	46名	2/25~3/1 (5回)	在宅サ―ビス委員会②
身体拘束・虐待廃止研修	身体拘束・虐待廃止における指針の説明	全職種	46名	2/25~3/1 (5回)	身体拘束・虐待廃止委員会
リスクマネジメント研修	事故報告書、ヒヤリ・ハット報告書の書き方について 危険予知訓練(KIT)	全職種	57名	3/25~3/29 (5回)	リスク管理委員会

参加職員は併設事業所も含む。

職員の外部研修の受講状況 (平成30年度)

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参加人員	日 付	期 間	場 所	研修結果の報告方法
姫路市老人福祉施設連盟 新任職員研修会	福祉サービスの心構え 施設理念の理解と人権意識について	介護員	1名	5月16日	1日間	姫路商工会議所	口頭・復命
一般社団法人兵庫県老人福祉事業協会 平成30年度介護報酬改定に伴う加算取得 方法に関する研修会	平成30年度介護報酬改定に伴う加算取得について	事務長 介護支援専門員	2名	5月21日	1日間	兵庫県福祉センター 1階多目的ホール	口頭・復命
兵庫県 平成30年度兵庫福祉・介護職員合同入 職式	合同入職式・新人研修会	事務員 介護員	2名	5月29日	1日間	兵庫県公館 大会議室	口頭・復命
一般財団法人OAA (野外活動協会) 新任職員フォローアップ研修	福祉の専門職としての心得、チームケアについて 他施設スタッフとの交流と情報交換	介護員	2名	6月19日 6月20日	2日間	OAAはりまハイッ	口頭・復命
兵庫県社会福祉協議会 新任職員ステップアップ研修	福祉のプロ、組織人に求められる基本姿勢について セルフ・ストレスケアについて	介護員	1名	9月12日	1日間	兵庫県社会福祉研修所	口頭・復命
姫路市網干消防署 高齢者福祉施設との意見交流会	高齢者施設との円滑な連携を図る為の注意事項 救急車要請時の情報連絡シートの活用について	介護員	1名	9月13日	1日間	姫路市網干消防署	口頭・復命
姫路市老人福祉連盟 ケアプラン研修会	ICFの概念と包括的自立支援プログラムについて 施設サービス計画書作成の基本と留意点について	介護員	1名	9月25日	1日間	姫路市商工会議所	口頭・復命
姫路市健康福祉局監査指導課 感染症対策研修 (基礎研修)	感染症の予防と対策について	介護員	1名	10月15日	1日間	姫路市役所北別館	口頭・復命
兵庫県老人福祉事業協会 介護の日イベント	平成30年度「介護技術コンテスト」	施設長 事務長 介護員	3名	11月3日	1日間	ホテルクラウンパレス神戸	口頭・復命
兵庫県老人福祉事業協会 平成30年度地域サポート型施設推進事業 情報交換会	各事業所の取り組みについて 意見交換	生活相談員	1名	11月19日	1日間	兵庫福祉センター	口頭・復命
兵庫県社会福祉協議会 平成30年度相談面接技術研修	相談面接技術の基礎的な知識・技術について	生活相談員	1名	2月20日 2月21日	2日間	兵庫県社会福祉研修所	口頭・復命
兵庫県社会福祉協議会 平成30年度リスクマネジメント研修	2019年度版ひょうご福祉サービス総合補償制度の概要 水防法改正に伴う対応について	管理者	1名	3月6日	1日間	兵庫福祉センター	口頭・復命

避難訓練（平成30年度）

実施日	訓練種目	訓練内容
4月20日	部分訓練	新任職員に対する非常設備・避難訓練の流れの説明
5月14日	夜間訓練	夜勤職員に対する避難訓練の流れの確認
7月30日	総合訓練	日中体制での避難誘導の流れの確認
8月28日	総合訓練	日中体制での避難誘導の流れの確認
9月27日	部分訓練	自家発電機、スプリンクラー等防災に関する機器の説明
10月30日	総合訓練	日中体制での避難誘導の流れの確認
11月27日	夜間訓練	夜勤職員に対する避難訓練の流れの確認
1月22日	部分訓練	避難訓練のマニュアルの確認
2月25日	夜間訓練	夜勤職員に対する避難訓練の流れの確認
3月7日	夜間訓練（消防署立会い）	消防署立会いによる夜間体制での避難訓練

苦情対応

受付日	苦情内容	解決方法
平成 30 年 11 月 2 日	「ナースコールの対応について」 トイレに行きたくてコールを数回押したが、夜勤者より何度もコールを押さなくてもパッドを当てているからそこに排泄しろと言われた。	①全職員に対して、ミーティング等で接遇について常に意識する事を繰り返し伝える事をご本人に説明する。 ②ご本人に不適切な対応を陳謝する。
平成 30 年 12 月 9 日	「職員の接遇について」 職員に頼みごとをした際、自分でするように言われた上、言い方が冷たく命令口調で気分を害する口調と態度だった。	①全職員に対して、ミーティング等で接遇について常に意識する事を繰り返し伝える事をご本人に説明する。 ②ご本人に不適切な対応を陳謝する。

事故対応

発生日	事故内容	事故対策
平成 30 年 4 月 10 日	「胸部付近広域の内出血について」 入浴の際、看護師より左側胸部、腋下～上腕部にかけて内出血があり、側胸部～脇腹付近までおりにている状態である。いつ出来たかは不明だが部位等から移乗時や座位中の補整時に力づくに強引に介助してしまいその際に出来た可能性があるが、特定は出来ない。	①介護技術と本人の状態を正しく理解し、適した介護方法が選択出来る様にミーティング等で説明し周知徹底を行う。 ②ミーティング等でリスクマネジメントについて常に意識する事を繰り返し伝える。
平成 30 年 7 月 16 日	「転倒による表皮剥離と打撲について」 他者の介助の為訪室した際、本人が立位のまま更衣をしており、リスクを感じながらも他者の介助を優先した結果転倒し右肘に 1 cm 程の表皮剥離と手首に痛みがある。	①転倒のリスクがある場合、優先順位を判断し一番に安全を確保する行動をとるようにミーティング等で伝え、周知徹底を図る。 ②巡視回数を増やし、動きに対して速やかな対応が出来るようにする。
平成 30 年 8 月 23 日	「内出血部位からの出血について」 入浴の際、本人の皮膚の弱さと内出血が出来ている事が把握出来ておらず、内出血の部位を強く擦ってしまい、1 cm 大の表皮剥離が出来て出血する。	①本人の状態を正しく理解し、本人に適した介護方法をミーティング等で説明し周知徹底を行う。 ②介護技術に関する知識を再度理解してもらう為研修を開き、注意事項を理解する。